



土木学会選奨土木遺産について



千葉県企業局 櫻井 俊彰
(令和7年度抄録委員会委員)

1. 土木学会選奨^{*}土木遺産とは

土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、公益社団法人土木学会が平成12年度に設立した認定制度となります。推薦および一般公募により年間20件程度を選出しており、令和7年6月現在531件の土木遺産が認定されております。

※選奨：よいものを選んで推薦すること。

2. 水道関連施設について

選奨土木遺産には水道関連施設も含まれており、下表に一部をご紹介します。詳細は下部 URL にて確認することができますので是非ご覧ください。土木遺産を通じて、水道事業の歴史、希少なデザイン、地域のランドマークなどを知ることができます。

表-1 選奨土木遺産（水道関連施設について一部抜粋）

No.	対象構造物	所在地	竣工年	認定年度
1	元町配水場・笹流ダム	北海道 / 函館市	明治22年・大正12年	平成13年度
2	千葉高架水槽	千葉県 / 千葉市	昭和11年	平成15年度
3	栗山配水塔	千葉県 / 松戸市	昭和12年	平成18年度
4	東隧道・大原隧道	神奈川県 / 横浜市	昭和5年・昭和3年	平成18年度
5	札幌市水道記念館（旧藻岩浄水場）	北海道 / 札幌市	昭和12年	平成19年度
6	剣崎浄水場	群馬県 / 高崎市	明治43年	平成21年度
7	千葉分場1号配水池	千葉県 / 千葉市	昭和12年	平成22年度
8	旧第一ポンプ所・東山給水塔	愛知県 / 名古屋市	大正3年・昭和5年	平成23年度
9	小河内ダム	東京都 / 西多摩郡	昭和32年	平成30年度
10	秦野・曾屋水道施設群	神奈川県 / 秦野市	明治21年等	令和2年度

3. 千葉県営水道の施設について

選奨土木遺産として認定された、千葉県営水道が所有する3つの施設をご紹介します。なお、本3施設は文化庁の登録有形文化財（建造物）としても登録されています。

- ① 千葉高架水槽：多角形（正12角形）の配水塔は稀であり、屋根は円錐、踊り場がコーニス風に突出したデザインであることを選定理由に、平成15年度に認定されました。
- ② 栗山配水塔：県営水道創設時の円筒形高架水槽で、ドーム状塔屋、頭部に4本柱の換気口をもち、現役で配水を担い、地域の歴史的景観をなすことを選定理由に、平成18年度に認定されました。
- ③ 千葉分場1号配水池：県営水道創設当時から市内の配水を担う貴重な施設であり、構造は、今では珍しい鉄筋コンクリート製の梁・柱式円形配水池であることを選定理由に、平成22年度に認定されました。



① 千葉高架水槽



② 栗山配水塔



③ 千葉分場1号配水池

土木学会選奨土木遺産： <https://committees.jsce.or.jp/heritage/>

※写真は認定当時